

おお大勝利

平成 20 年度山東サッカー部報第 18 号 (11 月 4 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

堂々たる戦い、県新人3位

11月1日～3日、県新人の1回戦、準々決勝、準決勝が行われました(決勝は8日)。山東は地区大会で惨敗した山形中央と戦いたいという思いから、まずは2連勝をもくろむ。しかし各地区の激戦を制した猛者が集まる県大会、そうやすやすとは行かないだろう、まずは**目の前の一戦に全力を傾けよう**と声を掛け合って臨みました。

初戦は置賜地区1位の米沢中央。昨年あたりから評判の高かったチームですが、今年の選手権でとうとう本領発揮。準決勝まで進み、羽黒をあわてさせました。ただ、米沢中央は新チームになって間がないので、6月から新チームで戦ってきた山形東としては「絶対に負けられない戦い」。ましてや相手は今年の県総体の雪辱に燃えているだろうチーム。勝負の世界に生きる以上このような因縁の戦いはぜひものにしたいところ。

序盤どっちつかずの流れの中、2年FWノリこと**近藤**がマーク(マークしてくる相手のこと)を背負いながらトラップ際のフェイントでマークを若干かわし、振り向きざまシュートで先制。素晴らしい得点にチームも沸く。直後左から右へ、流れるような展開から、右サイドを駆け上がった2年右サイドバック**一生**がファーサイドに絶妙センターリング、ボールは再びノリのもとへ。気負ったヘディングは惜しくも外れましたが、前半は山東ペース。後半はあとがない米沢中央の分厚い攻めを山東がこらえる展開。米沢中央は真ん中のトップの選手が抜け目なく山東DFラインの前のスペース(バイタル・エリア)に転がるボールを拾うものだから、攻めが途切れない。しかし山東DFも体を張り、決定的チャンスを作させない。そうした中、相手ゴール前でパスを受けた2年MF**究**が冷静に右足シュートでネットに突き刺し、米沢中央を突き放す。そしてそのまま勝利。五分五分に近い展開ながら、勝負強さで勝った山東の勝利。ここ最近、1対1の勝負で粘り強さを見せる2年**渋間**は「フィジカルで(の勝負なら誰にも)負ける気しねー」と大言壮語を吐くも、たくましくなってきた選手に目を細めました。

2日は一回戦に鶴岡南を延長で破った酒田東。練習試合では東海大山形と引き分けている強豪で、特にモンテ庄内出身の選手が要警戒なチーム。試合は終始山東ペース。山東はプレスが激しく、敵に自由にプレーさせない。敵の要注意なFWも1年DF**季祐**と2年**鬼嶋**にはさまれ、技術を出し切れない。序盤、2年FW**瑞生**の蹴ったファーサイドへの素晴らしいCKをノリが頭で合わせ、その後2年FW**大起**がDFラインの裏へのボールに抜け目なくすばやく反応し、待望の追加点。前半2-0で楽な展開に。しかし後半DFの軽いプレーから失点し、一転して悪い流れに。敵に勢いづけさせないためにも突き放す得点が欲しいと思っていた矢先、交代出場の2年**阿部**がこぼれ球をミドルシュ

ート。これが地を這うシュートで、敵 GK のファンブルを生みゴールイン。3 - 1 で勝利。楽には行かないものだと、つくづく痛感。ただ内容は一回戦よりも良く、一回戦でミスが多かった MF に落ち着きが出てきたのが好材料。いよいよ明日は山形中央戦だ！と気を引き締める。

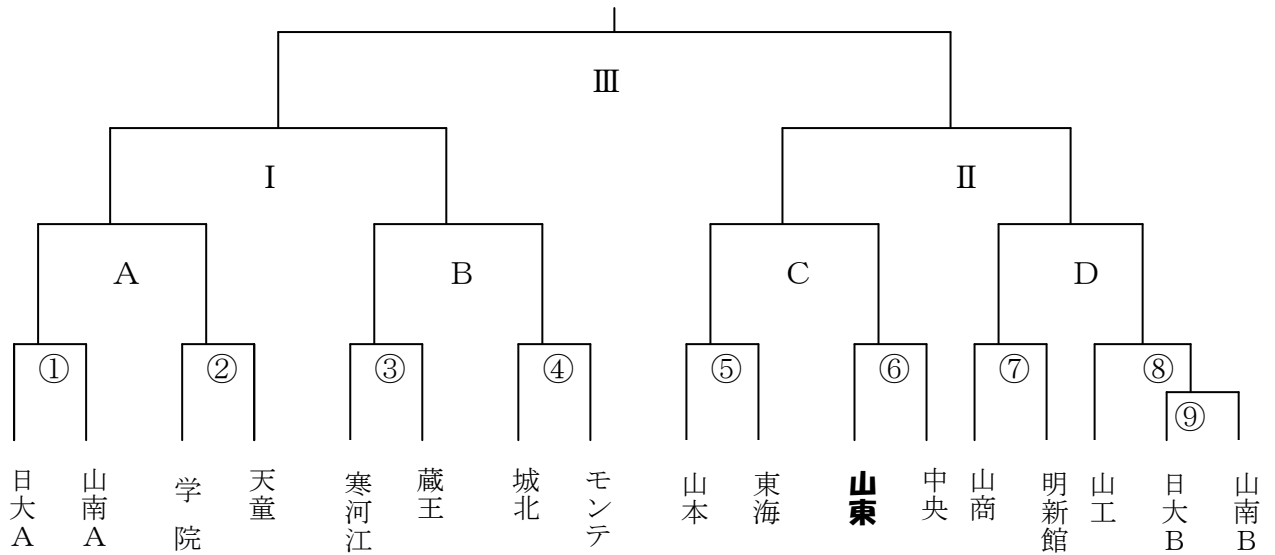
3日、雨加減の天童人工芝。三日間とも人工芝を使うことができ、幸運の一言（でこぼこのサッカー・ラグビー場で試合をしたチームもあったのです）。相手はもちろん前二試合を圧倒的強さで危な気なく勝ち進んできた山形中央。今日は一発あわてさせたいとひそやかな闘志を燃やす。地区大会では開始早々から攻め込まれすぐ失点したので、立ち上がりどうなることかと見守ると、普通の立ち上がり。DF ラインが敵のアタッカー相手に互角のマッチアップ。そしてしっかり受け止めた5分過ぎくらいから山東のペースとなり、交代直後のファーストタッチで一生から絶好のボールを受けた1年 MF 賢祐がゴール前フリーでシュート。しかし敵 GK に阻まれ、大魚を逃す。徐々に押し込まれるも前半は五分に近い試合展開。選手の成長を感じる。後半になると山形中央のペースは上がり、山東の攻めがなかなか厚いものにならず寸断される。プレスが速いため落ち着いてボールを保持できず、感覚で蹴ってしまい、ボールを失う悪い展開。**日ごろの練習でどれだけ厳しい中でプレーしているか**の違いが、徐々に出てくる。ただ主将鬼嶋を中心とした DF ラインは勝負強く、また GK 琢哉も最後尾をしっかり締め、0 - 0 で延長へ。延長になると、山東 DF のちょっとした隙を突かれ、とうとう失点。切り札鬼嶋を FW に換え勝負に出るも、あと一步及ばず、結局3位で県新人を終えました。

今年は2チームしか東北新人の枠がないため、2年ぶりの東北新人出場はならず。選手は力の限り戦い、力を出し切ってくれたと思います。それは山形中央戦のスコアが2 - 5から0 - 1に変わったことに端的に現れているでしょう。ただ山形中央との差はやはりありました。OB 会の後藤報道局長の試合後の言葉「今回勝ってしまうより、来年に課題を残した方が良い」は、両チームの関係を見事に言い当てていると感じました。あとは冬の間、しっかりトレーニングして、まだまだある山形中央らとの差を埋めて行きたいと思います。

たくさんの方に応援いただきました。特に3年生の保護者の方が多数お見えになり、遠巻きにも大変心強く感じました。来春は端っこや後ろ側にいないで、ぜひ真ん中で激励の声を出して下さい！！18名のエントリーに入れなかった選手も、応援団長**浩大朗**を先頭に**村岡、源**など声をからして応援してくれました。（正式な山東）応援団の方々は三日間とも駆けつけてくださり、山形中央戦ではハーフタイムに**下駄踊り**まで披露していただいて、その激励に応えたかったとの悔しい思いが残りました。また来春、ぜひお願いします！！

一年生大会も 山形中央

一年生大会の日程・組み合わせが、別紙のように決まりました。なかなか素晴らしいトーナメントに入りました。応援よろしく願いいたします。



●11月15日(土)

場所	時間	対戦
サッカー場	9:30 ~ 10:40	① 日大A VS 山南A
	11:00 ~ 12:10	⑤ 山本 VS 東海
	12:30 ~ 13:40	⑦ 商業 VS 明新館
	14:10 ~ 15:20	B ③の勝者 VS ④の勝者
ラグビー場	9:30 ~ 10:40	② 学院 VS 蔵王
	11:00 ~ 12:10	⑥ 山東 VS 中央
	12:30 ~ 13:40	⑧ 山工 VS ⑨の勝者
	14:10 ~ 15:20	C ⑤の勝者 VS ⑥の勝者
天童第二	9:30 ~ 10:40	③ 寒河江 VS 蔵王
	11:00 ~ 12:10	④ 城北 VS モンテ
	12:30 ~ 13:40	A ①の勝者 VS ②の勝者
	14:10 ~ 15:20	D ⑦の勝者 VS ⑧の勝者

●11月16日(日)

場所	時間	対戦
サッカー場	9:30 ~ 10:40	II
	12:40 ~ 13:20	III (決勝)
ラグビー場	9:30 ~ 10:40	I